

2009年室内環境学会第2回役員会議事要旨

日時：平成21年4月28日（火）13時～15時
場所：（株）アイデック事務所内5階会議室
出席者：小野、中井、川上、柳沢、櫻田
野崎（代理：橋本）、篠原（委任出席）柳（委任出席）
東、斎藤
事務局：中島、色摩
欠席者：池田、松村

議事次第

1) 会則に関するパブコメ結果と修正案について

事務局より会則に関するパブコメと若干の修正について説明があった。会員にパブコメを募ったが特段意見はなかったことが報告された。また役員から出された意見をもとに、若干の修正を施した上で、「室内環境」12月号等に掲載することとなった。

2) 平成20年度決算

事務局よりH20年度の決算報告書が提出され、報告された。平成21年度への繰越金が前年度と比べ約80万円減っている旨の報告があった（総会費用、学会誌印刷代などの計上による）。学会誌の残部数が多いようなので、現状の配布数を確認の上、印刷部数を減らす方向で考えたいとの意見があった。

3) 平成21年度総会の準備状況

東大会長より、今年度の総会準備状況について説明があった。実行委員会を立ち上げたこと、2009年12月13日（日）に市民公開講座、14（月）15（火）日に総会・特別シンポ・研究発表会を予定していること、創立15周年であることも踏まえ、「過去を振り返り未来を守る：室内環境研究への学際的アプローチ」のテーマを設定したことが報告された。また現段階での各講演者候補が紹介された。

一般演題の申込締切を2009年8月31日（必着）、要旨締切を9月30日（必着）とすること、演題申込時に発表希望分野を選択してもらい、プログラム編成の参考にすることが報告された。その他ポスター案、会場等の紹介があった他、会場の都合でランチョンセミナーは開催しない旨報告があった。

要旨投稿方法について質問があり、HPからPDFファイルを投稿してもらう予定との回答があった。案内をHPに速やかに掲載するとともに、演題申込システムを、広報委員会と連携して学会誌

発送までに準備することとなった。要旨集の印刷・発送については、可能であれば学会誌12月号と同梱して発送したいため、出版委員会と調整しながら進めることとした。

またNPO・企業プレゼンテーションの開催時間については、他のセッションとの重複ができるだけ少なくなるよう調整することとした他、共催・後援については実行委員会で議論の上、関連学会や地方公共団体への働き掛けを行うこととした。また予算案が提出され、承認された。

4) 委員会・支部報告

事業委員会：事務局から資料の説明があり、企業の表彰制度（永年功労賞）について提案があり、概ね了承され、事業委員会で内規の整理を進めてもらうこととなった。続いて大会ポスター賞の審査内規の改定について提案があり、現状の問題が認識され、議論を進めてもらうこととした。これに関連し、口頭発表の審査についても問題が提起された。また、「室内環境学概論（仮称）」発刊にあたっての契約について提案があり、基本的に了承された。

標準化委員会：柳沢委員長より、標準法認定手順について説明があった。事業委員会との関連について質疑応答があり、標準法の認定と実務とを仕分けるべきとの回答があった。一方、標準化法の開発に関する学会としての取り組みは、WGが担うものとする、と整理された。これと関連してWGの位置づけについて議論があり、委員会の下とせず、会長直轄とすることが確認され、会則16条2も併せて明確にすることとした。標準化委員会でも内規を作り、次回報告することになった。

出版委員会：川上委員長より、12巻1号の掲載内容の紹介があり、入稿が予定通り終了した旨報告があった。また12巻2号の進行状況、特に執筆依頼状況の報告があった。「室内環境学概論（仮称）」の出版について、準備体制、目次及びスケジュールの原案が示された。今後出版、事業及び学術委員会との連絡を取りながら進めることとなった。その他、出版委員会人事に関する内規が示された。印刷費の見積もりが3社分提出され、今後2年間程は大和総合印刷を利用する方針が決定された。

（旧）国際連携委員会・社会連携委員会：池田委員長から提出された活動計画が配布された。

広報委員会：事務局より、H21年度第1回広報委員会議事録に従い、HPでの企業広告バナーの掲載料について提案があり、了承された。また新たな情報配信メールについての提案があったが、ニューズレターの中でできないかとの意見があり、今後事務局と調整することとなった。

学術委員会：中井委員長より、今年度の活動計画が示された。分科会活動の活性化を掲げ、総会での学会の報告をするよう働きかけている旨報告があった。その他英文誌刊行の可能性を探るなどの方向性が示された。

東北支部：橋本支部長代理より、今年度の研究発表会の準備中であること、会員の掘り起こしを行いたい旨報告があった。

九州支部：樺田支部長より今年度の活動として1月23日に大気環境学会九州支部会とジョイントして特別講演会・研究発表会を開催した旨報告があった。また、昨年、学校薬剤師会との話し合いの場を作ったが、ニーズがあれば継続したいとの話があった。

- 5) H21年度予算及び事業計画
今年度予算については、次回役員会で改めて審議することとした。
- 6) 学会ホームページについて
(広報委員会報告の中で議論された通り)
- 7) 大会長奨励賞、優秀ポスター賞の選考について
(事業委員会報告の中で議論された通り)
- 8) その他
 - ・来年度大会については、東京開催であることを踏まえ、次回役員会で会長より大会長等の原案を提示し、審議することとした。
 - ・今年度予算については総会時に組まれた予算の範囲内で必要に応じて運用を開始することとした。
 - ・次回役員会は、6月下旬から7月上旬を予定し、後日日程調整することとした。
 - ・委員会・役員会の旅費の支給については次回役員会で検討することとした。

以 上